

主要生命保険会社の令和7年3月期決算の概要

1. 損益の状況（単体）

- 保険料等収入は、国内金利の上昇などにより一時払円建て保険の販売が増加した一方、一時払外貨建て保険の販売が減少したことなどから、前年に比べ減収。
- 当期純利益（純剰余）は、有価証券売却損益の減少等によりキャピタル損益が減少したものの、内外株式の増配などによる利息及び配当金収入の増加を受けて基礎利益が増益したことなどにより、前年に比べ増益。

（単位：億円）

	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期	前年比
保険料等収入	324,047	365,908	358,152	▲7,756
基礎利益	27,400	37,316	41,780	4,463
キャピタル損益	▲457	▲2,292	▲4,569	▲2,277
臨時損益	▲2,750	▲4,978	▲6,636	▲1,657
特別損益	▲833	▲2,102	▲2,015	87
当期純利益（純剰余）	16,224	19,979	22,880	2,900

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株価の下落等による、その他有価証券評価差額金の減少などから、前年度末に比べ59.2%ポイント低下。

（単位：%）

	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	942.0	930.8	871.6	▲59.2Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、三井住友海上あいおい生命、ニッセイ・ウェルス生命、かんぽ生命の21社を集計。